

2018年12月25日

－ 安藤財団 2018年度自然体験活動支援事業 －

「第17回 トム・ソーヤースクール企画コンテスト」

文部科学大臣賞「太子町立中学校 社会科学部（大阪府）」、
安藤百福賞「社会福祉法人扶助者聖母会 星美ホーム（東京都）」に決定

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団（略称:安藤財団、所在地:大阪府池田市、理事長:安藤 宏基）は、「第17回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」（後援:文部科学省ほか）の審査委員会を開催し、2018年度の表彰団体を決定しました。

学校部門の最優秀賞となる「文部科学大臣賞」は、自然や文化遺産に恵まれた地域の研究、環境学習を実施し、情報誌の発行などを通じて魅力を発信することで町おこしに貢献した、太子町立中学校 社会科学部（大阪府）の「ドキドキ!ワクワク!特別体験 ～自然・生物と触れ合い、地域の魅力を発見しよう～」に決定しました。

また、一般部門の最優秀賞となる「安藤百福賞」は、ハードな北アルプス縦走を通して、子どもたちに体験からの学びを提供した、社会福祉法人扶助者聖母会 星美ホーム（東京都）の「星美ホーム百名山 ～海拔0mからの挑戦～」に決定しました。

最優秀賞に選ばれた2団体には、それぞれ副賞として100万円を贈呈します。

その他、「優秀賞」として2団体、「推奨モデル特別賞」として1団体、「トム・ソーヤー奨励賞」として2団体、「努力賞」として6団体を表彰します。

表彰式は、「安藤百福発明記念館 横浜（愛称:カップヌードルミュージアム 横浜）」で2019年1月26日（土）に開催します。ゲストに岡田 武史氏（おかだ たけし 株今治. 夢スポーツ代表取締役会長、元サッカー日本代表監督）をお招きした講演会も行い、抽選で200名の方をご招待します。



公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団は、創設者 あんどう ももふく 安藤 百福が掲げた「食とスポーツは健康を支える両輪である」の理念のもとに、青少年の健全育成と食文化向上のための事業を行っています。陸上競技の支援事業、独創的な基礎研究、食品開発、ベンチャーなどを支援する食創会「安藤百福賞」表彰事業、「カップヌードルミュージアム」の運営（大阪府池田市と神奈川県横浜市の2カ所）のほか、1983年の財団設立当初から自然体験活動の普及に取り組んでいます。

「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」は、「自然体験は子どもたちの体力、創造力、チャレンジ精神を育む」との考えに基づき、全国の学校や団体から自然体験活動の企画案を公募、その実施を支援し、優秀な活動団体を表彰するものです。また、安藤財団では、青少年の自然体験活動を推進するための人材育成や、アウトドア活動を普及することを目的として、2010年5月に「安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター」（略称:安藤百福センター）を長野県小諸市に設立しました。この2つの事業を通じて、子どもたちの自活力を育む自然体験活動の普及啓蒙と指導者の育成強化に貢献しています。

事業概要

1. 名 称 2018 年度自然体験活動支援事業
「第 17 回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」
2. 内 容 自然体験活動の企画案を公募し、ユニークで創造性に富んだ活動を立案した 50 団体に各 10 万円の実施支援金を贈呈。さらに 50 団体から提出された活動報告書を審査し、学校部門は文部科学大臣賞と優秀賞を、一般部門は安藤百福賞と優秀賞を授与して表彰します。
また、その内容をホームページ「自然体験.com」(<http://www.shizen-taikেন.com>)で公開し、自然体験活動の振興を図ります。
3. 主 催 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
4. 後 援 文部科学省、横浜市、横浜市教育委員会
5. 表 彰 (1)学校部門
文部科学大臣賞 副賞 100 万円、「チキンラーメン」1 年分
優秀賞 副賞 50 万円、「チキンラーメン」半年分
(2)一般部門
安藤百福賞 副賞 100 万円、「チキンラーメン」1 年分
優秀賞 副賞 50 万円、「チキンラーメン」半年分
(3)推奨モデル特別賞*1 副賞 30 万円、「チキンラーメン」半年分
(4)トム・ソーヤー奨励賞*2 副賞 20 万円、「チキンラーメン」半年分
(5)努力賞 副賞 10 万円、「チキンラーメン」3 カ月分

*1 プランニングや指導の方法、計画を実施に移す過程などが多くの学校や団体の参考モデルになると認められた企画へ贈られる。

*2 企画内容がユニークであり、他団体への刺激や参考となり、さらなる飛躍が期待できる団体へ贈られる。

6. 審査委員会

委員長	安藤 宏基	公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団	理事長
委 員	飯田 稔	仙台大学	上級研究アドバイザー
	近藤 謙司	日本山岳ガイド協会認定	国際山岳ガイド
	せつだ じゅうせつ 節田 重節	NPO 法人日本ロングトレイル協会	会長
	星野 敏男	明治大学	教授
		日本野外教育学会	理事長
	水野 正人	ミズノ株式会社	相談役会長

(50 音順)

表彰団体

[学校部門]

文部科学大臣賞

- ◆企画名 ドキドキ!ワクワク!特別体験
～自然・生物と触れ合い、地域の魅力を発見しよう～
- 学校名 太子町立中学校 社会科学部 (大阪府)
- 代表者 どのうえ まさみ
堂上 雅三 校長
- 活動内容 郷土の魅力である自然環境や文化遺産を対象にして、広範囲な調査研究、保全活動を行い、地域の魅力を冊子や動画などで発信した町おこしと環境学習の企画。
- 表彰理由 生徒たちの熱心な取り組みを分かりやすくまとめ上げた内容で、身近な人たちとの触れ合いを通じて、地域の環境教育に貢献した広報発信力を感じる活動であった。



優秀賞

- ◆企画名 魅力いっぱい須佐の郷探訪
- 学校名 出雲市立須佐小学校 (協働：須佐コミュニティセンター) (島根県)
- 代表者 おおさき つよし
大崎 強 センター長
- 活動内容 「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、歴史と自然豊かな地域で学校、コミュニティセンター、地域が連携し、子どもたちの郷土愛を育む体験活動。
- 表彰理由 全校児童を縦割り班構成にして、6年間活動を継続させることは、地域に伝わる伝説や歴史、自然を知る上ですばらしい試みであり、緻密な計画性が評価された。



[一般部門]

安藤百福賞

- ◆企画名 星美ホーム百名山 ～海拔 0m からの挑戦～
- 団体名 社会福祉法人扶助者聖母会 星美ホーム（東京都）
- 代表者 くまもと さちこ 熊本 幸子 施設長
- 活動内容 海拔 0m からスタートして百名山を 3 つ登り、移動は徒歩でテント泊、自炊し、長期間活動するという、体験からの学びを重視したスケールの大きな活動。
- 表彰理由 百名山をテーマとした活動は初めてであり、ハードな 10 日間の北アルプス縦走登山で心身とも過酷であったが、冒険的要素にあふれた活動を評価したい。



優秀賞

- ◆企画名 第 11 回寺子屋つばさ 100km 徒歩の旅
- 団体名 寺子屋つばさ 100km 徒歩の旅実行委員会（新潟県）
- 代表者 かせ かずひろ 嘉瀬 一洋 会長
- 活動内容 子どもたちが炎天下の中を、4 泊 5 日で 100 km 徒歩の旅を歩き切ることを通して、自らの限界に挑戦し、困難を乗り越えることを実体験する企画。
- 表彰理由 参加者 73 名全員が 100km を完歩し、過酷な「歩育」を成し遂げたのは立派である。子どもたちやスタッフの感動が伝わり、達成感に満ちあふれた企画だった。



推奨モデル特別賞

- ◆企画名 鹿嶺の頂を極める! ～激辛ジビエカレーで地域おこし～
- 学校名 伊那市立長谷中学校 (長野県)
- 代表者 たかぎ ゆきのぶ 高木 幸伸 校長
- 活動内容 学区内にあるキャンプ場でカレーフェスティバルを行い、そのためにコメ、野菜を学校で育てる。中学生が主導し、農業と食を通して地域活性化を目指す活動。
- 表彰理由 「中学生が地域のためにできること」をテーマに、去年は文部科学大臣賞を受賞した。去年の企画が進化し、地域の活性化に一層貢献している点が高く評価された。



トム・ソーヤー奨励賞

- ◆企画名 「アトリファームでESD!」
～学校・地域・家庭が協働した循環型の飼育・栽培活動を通して～
- 学校名 うりわり 大阪市立瓜破西小学校「うりにし瓜西ネイチャークラブ」(大阪府)
- 代表者 おかの まさこ 岡野 雅子 校長
- 活動内容 「ネイチャークラブ」を組織し、ヤギやウサギなどの飼育や栽培活動を中心として、子ども、教職員、保護者、地域の4者が協働した循環型の環境学習活動。
- 表彰理由 社会に開かれた学校を目指して活動を公開し、児童の成長を測定尺度を用いて確認するなど、持続可能で等身大の手作り感が評価された。



- ◆企画名 遊び・学び・育つイベント
「OGASU 村」開催 ～河川敷で子どもの想像力と発想力を思う存分発揮する～
- 団体名 石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会（宮城県）
- 代表者 塩田 大介 共同代表
しおた だいすけ
- 活動内容 「遊ぶ場所がないから自分たちでつくる」という思いを持つ子どもたちが、想像力と発想力を思う存分発揮して「遊び・学び・育つ」イベントである「OGASU 村」を、夏休みに 5 日間開催する活動。
- 表彰理由 中学 3 年女子 6 人組の発想がスタートとなって始まった河原の公園づくりは、情熱と行動力にあふれていて、「子どもたちの社会参画を推進」する有意義な活動であった。



努力賞

[学校部門]

- ◆企画名 かっちっこタイム ～川の生き物探検隊・甲地あおぞら水族館・小川原湖とともに～
- 団体名 東北町立甲地小学校（委託：小川原湖自然楽校）（青森県）
かっち
- 代表者 相馬 孝 代表
そうま たかし
- ◆企画名 「つながる いのち」（めざせ生きものはかせ）
～植物の栽培や生き物との関わりの中で、命のつながりについて考える～
- 学校名 京都市立朱雀第四小学校（京都府）
すざく
- 代表者 平野 智洋 校長
ひらの ともひろ

[一般部門]

- ◆企画名 夏休み 7dez チャレンジ青森横断大冒険
～青森県太平洋から日本海・山、川、溪流、海プログラム～
- 団体名 自然体験楽校青森自然塾（青森県）
- 代表者 佐藤 好文 塾長
さとう よしふみ
- ◆企画名 子ども適産調 ～リキノスケ未来塾～
- 団体名 特定非営利活動法人草木谷を守る会（秋田県）
- 代表者 石川 紀行 代表理事
いしかわ のりゆき

◆企画名 川あそび、海あそび、湘南いきもの楽校水ガキ養成講座
団体名 特定非営利活動法人暮らし・つながる森里川海（神奈川県）
代表者 臼井 勝之 理事長

◆企画名 「里山の四季 まるごと体験」
団体名 特定非営利活動法人里豊夢わかさ（福井県）
代表者 前田 勉 理事長

表彰式・講演会

日時 2019年1月26日(土)13時より15時30分まで
場所 横浜市中区新港2-3-4
安藤百福発明記念館 横浜（愛称:カップヌードルミュージアム 横浜）
5階イベントホール
内容 ①表彰式
②活動報告
③講演会 岡田 武史氏
(株)今治. 夢スポーツ代表取締役会長、元サッカー日本代表監督
テーマ「自然体験 ～遺伝子にスイッチを入れるには～」
参加費 無料
応募方法 はがきまたは「自然体験.com」のウェブサイトからお申込みください。
<はがきで応募の場合>
郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、年齢、職業、電話番号、参加人数（4名まで
申込可能）を明記の上
〒231-0001 横浜市中区新港2-3-4
(公財)安藤スポーツ・食文化振興財団「企画コンテスト係」までご応募ください。
<ウェブで応募の場合>
「自然体験.com」のウェブサイト内にある応募フォームより、必要事項を入力して
ご応募ください。
URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/940ee2da94821>
※取得した個人情報は、本表彰式、講演会の抽選および参加証の発送目的以外に、
今後、当財団がするイベントなどのご案内に利用させていただく場合があります。
応募締切 2019年1月10日（当日消印有効）
定員 200名
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。当選発表は参加証の発送をもつ
て代えさせていただきます。（1月中旬頃発送予定）

詳細は、「自然体験.com」のウェブサイト (<http://www.shizen-taiken.com>) をご参照ください。

《この件に関するお問い合わせ先》

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
事務局 荒金 善一

〒563-0041 大阪府池田市満寿美町8-25 TEL (072) 752-4335
(火曜日、年末年始は休業)